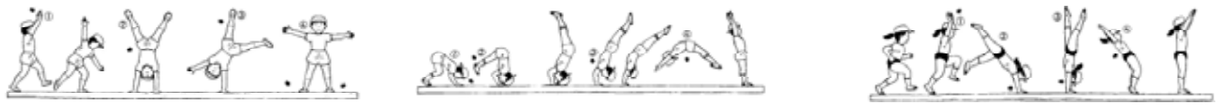
5　本時の学習について

（１）本時のねらい

○グループの友達と動きを合わせること意識して，集団マットに挑戦することができる。（関心・意欲・態度）
○友達と話し合い，できる技をうまく組み合わせて集団マットに取り組むことができる。（思考・判断）
○友達とリズムやタイミングを合わせて，安定した動作でマット運動をすることができる。（技能）

（２）本時の展開

学びの段階	子どもの活動	かかわりと学びへのはたらきかけ	評　価
ひらく ⇩ **つかむ**	1　本時の学習の流れを確認し，めあてをもつ。	・前時の学習を想起させ，友達と動きを合わせるポイントを考えながら個人やグループのめあてが具体的にもてるようにする。また，グループでの励まし合うことを意識しながら，グループ演技に挑戦しようとする気持ちを高める。 **友達と動きを合わせながら，集団マットに挑戦しよう！**	●用具の運び方のきまりを守って，グループの仲間と協力して準備をしているか。（関心・意欲・態度）
⇩	2　体ほぐしの運動をする。	・心身ともにリラックスした雰囲気で学習にのぞめるよう，友達とかかわり合う体ほぐしの運動を中心に取り上げる。※ストレッチ　※かえる逆立ち　※かえるの足うち ※いろいろな前転　※後転　※アンテナから開脚	
たかめる	3　自分のめあてに向かって挑戦して楽しむ。	めあて①　友達と動きを合わせることを考えながら，今できる技のできばえを高める。 ・グループの友達同士で互いに励まし合ったり，できばえを評価し合ったりさせることにより，動き方のこつを見つけたり，友達と励まし合うことのよさを実感できるようにする。 ・うまく課題が達成できない児童には，うまくできている児童の動きを見せたり，友達の見つけたポイントについて考えさせたりするなど支援する。 **＜　前転系　＞**　開脚前転　跳び前転　倒立前転 **＜　後転系　＞**　開脚後転 **＜　側方倒立回転系　＞**　側方倒立回転 **＜　はねおき系　＞**　頭跳ね起き　前方倒立回転  ・「正確にできているか」「リズムを意識しているか」「静と動の動きを組み合わせているか」という視点を意識してアドバイスできるように支援する。	●自分の力に合った技を選んで連続技に挑戦しているか。（技能） ●グループの友達と教え合ったり，できばえを評価し合ったりしているか。（思考・判断）
⇩	4　グループの友達と力を合わせて楽しむ。	めあて②　グループの友達とできる技を組み合わせてグループ演技を楽しむ。 ・個人の連続技をうまく生かしながら，集団演技を構成し，取り組むよう助言する。 ・場をうまく活用することやタイミングをそろえることを意識させる。 ・うまく課題が達成できないグループには他のグループの演技を紹介することで，問題が解決できるようにする。	●自分のできるようになった技を取り入れ，グループ演技をすることができたか。（思考・判断）
ふりかえる	5　本時の学習をふりかえる。	・できるようになった動きや，友達と教え合いをして気づいたことを中心に振り返らせ，本時のめあてや学習態度について自己評価し，次時のめあてを設定できるようにする。	●友達と励まし合って，マット運動を楽しんでいるか。（関心・意欲・態度）